

デーヴォ ガイド



2024.11.18-24

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(2~3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?)1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか?)

④この世にあって何を実践しますか?

1:1 イエス・キリストの黙示。神はすぐに起こるべきことをしもべたちに示すため、これをキリストに与えられた。そしてキリストは、御使いを遣わして、これをしもべヨハネに告げられた。

1:2 ヨハネは、神のことばとイエス・キリストの証し、すなわち、自分が見たすべてのことを証した。

1:3 この預言のことばを朗読する者と、それを聞いて、そこに書かれていることを守る者たちは、幸いである。時が近づいているからである。

1:4 ヨハネから、アジアにある七つの教会へ。今おられ、昔おられ、やがて来られる方から、また、その御座の前におられる七つの御霊から、

1:5 また、確かな証人、死者の中から最初に生まれた方、地の王たちの支配者であるイエス・キリストから、恵みと平安があなたがたにあるように。私たちを愛し、その血によって私たちを罪から解放し、

1:6 また、ご自分の父である神のために、私たちを王国とし、祭司としてくださいました方に、栄光と力が世々限りなくあるように。アーメン。

1:7 見よ、その方は雲とともに来られる。すべての目が彼を見る。彼を突き刺した者たちさえも。地のすべての部族は彼のゆえに胸をたたいて悲しむ。しかり、アーメン。

1:8 神である主、今おられ、昔おられ、やがて来られる方、全能者がこう言われる。「わたしはアルファであり、オメガである。」

示しになりました。それは地上のことではないので、見たヨハネ自身も明確な理解があったわけではないでしょうし、さらにそれを表現し、そしてそれを人間が聞いても、その現象を完全に再現することはできないと思われます。

それでも主がそのようにお示しになったのは、それが私たちの信仰の確信と力になるからです。主イエス様によって永遠の命が与えられた者にとっては、未来は希望なのだと思ふに深く心に刻みましよう。そして希望ですから、わくわくして思うことができます。世の終わりと天変地異も、それは希望なのです。

ヨハネがバトモス島にいた(9節)というのは、迫害にあってそこで終身刑を受けていたということです。そのような無希望に見えるようなときこそ、主の永遠の希望の入口です。私たちが将来が暗く感じるときこそ、主を見上げましょう。主から希望がいただけますから、それを求めましょう。

①神のみこころは？(信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど)

②どんな思いになりましたか？(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか？(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 19日 火曜

黙示録

1:9 私ヨハネは、あなたがたの兄弟で、あなたがたとともにイエスにある苦難と御国と忍耐にあずかっている者であり、神のことばとイエスの証しのゆえに、パトモスという島にいた。

1:10 私は主の日に御霊に捕らえられ、私のうしろにラツパのような大きな声を聞いた。

1:11 その声はこう言った。「あなたが見たことを巻物に記して、七つの教会、すなわち、エベソ、スミルナ、ベルガモン、ティアティラ、サルディス、フィラデルフィア、ラオディキアに送り返しなさい。」

1:12 私は、自分に語りかける声を見ようとして振り向いた。振り向くと、七つの金の燭台が見えた。

1:13 また、その燭台の真ん中に、人の子のような方が見えた。その方は、足まで垂れた衣をまとい、胸に金の帯を締めていた。

1:14 その頭と髪は白い羊毛のように、また雪のように白く、その目は燃える炎のようであった。

1:15 その足は、炉で精錬された、光り輝く真鍮のようで、その声は大水のとどろきのようであった。

1:16 また、右手に七つの星を持ち、口から鋭い両刃の剣が出ていて、顔は強く照り輝く太陽のようであった。

1:17 この方を見たとき、私は死んだ者のように、その足もとに倒れ込んだ。すると、その方は私の上に右手を置いて言われた。「恐れることはない。わたしは初めであり、終わりであり、

1:18 生きている者である。わたしは死んだが、



見よ、世々限りなく生きている。また、死とよみの鍵を持っている。

1:19 それゆえ、あなたが見たこと、今あること、この後起ころうとしていることを書き記せ。

1:20 あなたがわたしの右手に見た七つの星と、七つの金の燭台の、秘められた意味について。七つの星は七つの教会の御使いたち、七つの燭台は七つの教会である。

世の終わりという厳かな啓示は、「七つの教会、送り返しなさい。」というように、キリストの教会に伝えられました。それゆえ教会にはその啓示を伝え広める使命があると言えます。

またそれは希望の使信として語られるのであって、救われて終わりの日に希望を持つ教会だからこそ正しく伝えられるのです。

ですから、先ず明らかにされたのは「人の子のような方」、すなわちイエス様です。ここに示されている厳かなイエス様こそが私たちの救い主でありますから、私たちは心強いのです。

死や終末という究極の出来事に主イエスが希望です。ましてや今を生きるのもイエス様こそが希望であることは言うまでもありません。

やがてイエス様が勝利のさばき主としておいでになるときは、教会は御前できよく傷のないものとして立つことが主のみこころです。ですからこの書のように、教会は終わりの日のために叱責され、整えられる必要があるのです。これら七つの教会はどの時代にも、またどの教会でも自省してみる必要がある共通点を持っています。私たちの教会はどうでしょうか。また教会の一部である自分自身はどうでしょうか。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



20日 水曜

黙示録

2:1 エペソにある教会の御使いに書き送れ。『右手に七つの星を握る方、七つの金の燭台の間を歩く方が、こう言われる——。

2:2 わたしは、あなたの行い、あなたの労苦と忍耐を知っている。また、あなたが悪者たちに我慢がならず、使徒と自称しているが実はそうでない者たちを試して、彼らを偽り者だと見抜いたことも知っている。

2:3 あなたはよく忍耐して、わたしの名のために耐え忍び、疲れ果てなかった。

2:4 けれども、あなたには責めるべきことがある。あなたは初めの愛から離れてしまった。

2:5 だから、どこから落ちたのか思い起こし、悔い改めて初めの行いをしなさい。そうせず、悔い改めないなら、わたしはあなたのところに行つて、あなたの燭台をその場所から取り除く。

2:6 しかし、あなたにはこのことがある。あなたはニコライ派の人々の行いを憎んでいる。わたしもそれを憎んでいる。

2:7 耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。勝利を得る者には、わたしはいのちの木から食べることを許す。それは神のパラダイスにある。』

2:8 また、スミルナにある教会の御使いに書き送れ。『初めであり終わりである方、死んでよみがえられた方が、こう言われる——。

2:9 わたしは、あなたの苦難と貧しさを知っている。だが、あなたは富んでいるのだ。ユダヤ人だと自称しているが実はそうでない者たち、サタン一会衆である者たちから、のしられていることも、わたしは知っている。

2:10 あなたが受けようとしている苦しみを、



何も恐れることはない。見よ。悪魔は試すために、あなたがたのうちのだれかを牢に投げ込もうとしている。あなたがたは十日の間、苦難にあう。死に至るまで忠実でありなさい。そうすれば、わたしはあなたにいのちの冠を与える。

2:11 耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。勝利を得る者は、決して第二の死によって害を受けることはない。』

七つの教会が出てきますが、どれも当時の代表的な教会であり、また同時にその特徴はいつの時代の教会にも当てはまるものでしょう。

エペソの教会には、労苦と忍耐、そして偽りを見抜いたこと、さらには忍耐が賞賛されています。しかし「初めの愛から離れてしまった。」と残念なところが指摘されます。

私たちはどうでしょうか。主に喜ばれることは多くても、愛から離れてしまつたら喜びがなく、辛だけの忍耐になってしまいます。主の愛にとどまるには、主の愛のこぼれを頂くことです。または祈りに答えていただくことです。いのちの木から食べるように喜びと楽しみを感じることでしょう。

スミルナの教会は、七つの教会の中で唯一叱責のない教会です。人間的に表面だけを見るなら「苦難と貧しさ」ばかりが目立つようでも、神様の目から見ると「富んでいます」と言われます。

私たちもそうありたいものです。主はスミルナの教会の人々に大いなる天の宝を備えておられたということでしょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



21日 木曜

黙示録

2:12 また、ペルガモンにある教会の御使いに書き送れ。『鋭い両刃の剣を持つ方が、こう言われる――』

2:13 わたしは、あなたが住んでいるところを知っている。そこにはサタンの王座がある。しかしあなたは、わたしの名を堅く保って、わたしの確かな証人アンティパスが、サタンが住むあなたがたのところで殺されたときでさえ、わたしに対する信仰を捨てなかった。

2:14 けれども、あなたには少しばかり責めるべきことがある。あなたのところ、バラムの教えを頑なに守る者たちがいる。バラムはバラクに教えて、偶像に献げたいけにえをイスラエルの子らが食べ、淫らなことを行うように、彼らの前につまずきを置かせた。

2:15 同じように、あなたのところにもニコライ派の教えを頑なに守っている者たちがいる。

2:16 だから、悔い改めなさい。そうしないなら、わたしはすぐにあなたのところに行き、わたしの口の剣をもって彼らと戦う。

2:17 耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。勝利を得る者には、わたしは隠されているマナを与える。また、白い石を与える。その石には、それを受ける者のほかはだれも知らない、新しい名が記されている。』

ペルガモの教会は、サタンの王座と言われる偶像・悪霊の世にあっても、またアンテパスのような殉教者を出しても、「信仰を捨てなかった」と褒められています。主は異教の社会にあつて、信仰を守り通している私たちの大変さをも分ってくださるはずです。

ただしこの教会の人々は、異端の影響を受けてい



たようです。このニコライ派については他の記録はないようですが、ここから分るのは放縦を勧めるような教えであったようです。現代も自由や人権の勝手な解釈によって、倫理観が損なわれ易い時代ですから、時代に迎合するような教えに気をつける必要があります。

勝利を得ましょう。それは財産や名誉ではなく、偶像や異端に惑わされないで、主の真理とご計画によって生きることです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？



2:18 また、ティアテラにある教会の御使いに書き送れ。『燃える炎のような目を持ち、その足は光り輝く真鍮のような神の子が、こう言われる――。

2:19 わたしは、あなたの行い、あなたの愛と信仰と奉仕と忍耐を知っている。また、初めの行いにまさる、近ごろの行いも知っている。

2:20 けれども、あなたには責めるべきことがある。あなたは、あの女、イゼベルをなすがままにさせている。この女は、預言者だと自称しているが、わたしのしもべたちを教えて感わし、淫らなことを行わせ、偶像に献げた物を食べさせている。

2:21 わたしは悔い改める機会を与えたが、この女は淫らな行いを悔い改めようとしない。

2:22 見よ、わたしはこの女を病の床に投げ込む。また、この女と姦淫を行う者たちも、この女の行いを離れて悔い改めないなら、大きな患難の中に投げ込む。

2:23 また、この女の子どもたちを死病で殺す。こうしてすべての教会は、わたしが人の思いと心を探る者であることを知る。わたしは、あなたがたの行いに応じて一人ひとりに報いる。

2:24 しかし、ティアテラにいる残りの者たち、この教えを受け入れず、いわゆる「サタンの深み」を知らないあなたがたに言う。わたしはあなたがたに、ほかの重荷を負わせない。

2:25 ただ、あなたがたが持っているものを、わたしが行くまで、しっかり保ちなさい。

2:26 勝利を得る者、最後までわたしのわざを守る者には、諸国の民を支配する権威を与え

る。

2:27 彼は鉄の杖で彼らを牧する。土の器を砕くように。

2:28 わたしも父から支配する権威を受けたが、それと同じである。また、勝利を得る者には、わたしは明けの明星を与える。

2:29 耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。』

テアテラの教会は「愛と信仰と奉仕と忍耐」を持っていましたし、「行い」においても初めよりもまさっているということですから、素晴らしい群れであり主から褒められています。

しかし、「イゼベルという女」と呼ばれる人物からの悪影響があると叱責されています。これはそのような悪を持った群れかもしれませんし、またはどの時代にも共通の悪を表わしているのかもしれない。アハブ王の妻であったイゼベルは、偶像礼拝を持ち込みましたから、そのような傾向が教会にあることに警告を与えているとも考えられます。

テアテラの教会のように、表面的には素晴らしい働きをする教会のようでも、主はその内面をご覧になります。純粋に主を慕って働きが進んでいるかどうか、大切です。私たち「ひとりひとりに報い」てくださる主ですから、周りに流されることなく、主イエスから目を離さずに歩みましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



3:1 また、サルディスにある教会の御使いに書き送れ。『神の七つの御霊と七つの星を持つ方が、こう言われる——。わたしはあなたの行いを知っている。あなたは、生きているとは名ばかりで、実は死んでいる。

3:2 目を覚まし、死にかけている残りの者たちを力づけなさい。わたしは、あなたの行いがわたしの神の御前に完了したとは見ていない。

3:3 だから、どのように受け、聞いたのか思い起こし、それを守り、悔い改めなさい。目を覚まさないなら、わたしは盗人のように来る。わたしがいつあなたのところに来るか、あなたには決して分からない。

3:4 しかし、サルディスには、わずかだが、その衣を汚さなかった者たちがいる。彼らは白い衣を着て、わたしとともに歩む。彼らがそれにふさわしい者たちだからである。

3:5 勝利を得る者は、このように白い衣を着せられる。またわたしは、その者の名をいのちの書から決して消しはしない。わたしはその名を、わたしの父の御前と御使いたちの前で言い表す。

3:6 耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。』

「生きているとは名ばかりで実は死んでいる」とは、信仰の状態を意味しているのでしょうか。イエス様の十字架を信じて受け入れた者は、永遠の命があるのですから、生きた者のはずですが、ヤコブ書には「行いのない信仰は死んでいる」とも書かれています。自分自身の信仰に行いが伴っているか、考えてみる必要があります。

また命あるものは成長するのですから、自分は成

長しているか、また謙遜に成長を願っているかを考えてみる必要があります。

それがないのは、自分自身の信仰や人格が“全うされた”と勘違いしているからでしょう。主はそのように「見てはいない」と言われます。主は盗人のように、すなわち知らぬ間に来られるのですから、成長を求めなかったことを悔い改めて目を覚ましていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



3:7 また、フィラデルフィアにある教会の御使いに書き送れ。『聖なる方、真実な方、ダビデの鍵を持っている方、彼が開くと、だれも閉じることがなく、彼が閉じると、だれも開くことがない。その方がこう言われる—

3:8 わたしはあなたの行いを知っている。見よ。わたしは、だれも閉じることができない門を、あなたの前に開いておいた。あなたには少しばかりの力があって、わたしのことばを守り、わたしの名を否まなかったからである。

3:9 見よ。サタンの会衆に属する者、すなわち、ユダヤ人だと自称しているが、実はそうではなく、嘘を言っている者たちに、わたしはこうする。見よ。彼らをあなたの足もとに來させてひれ伏させ、わたしがあなたを愛していることを知らせる。

3:10 あなたは忍耐についてのわたしのことばを守ったので、地上に住む者たちを試みるために全世界に來ようとしている試練の時には、わたしもあなたを守る。

3:11 わたしはすぐに来る。あなたは、自分の冠をだれにも奪われないように、持っているものをしっかり保ちなさい。

3:12 わたしは、勝利を得る者を、わたしの神の神殿の柱とする。彼はもはや決して外に出て行くことはない。わたしは彼の上に、わたしの神の御名と、わたしの神の都、すなわち、わたしの神のもとを出て天から下って來る新しいエルサレムの名と、わたしの新しい名とを書き記す。

3:13 耳のある者は、御霊が諸教会に告げるこ

とを聞きなさい。』

フィラデルフィアの教会が裏められることは、主イエスの名を否まなかったということです。恐らく迫害や困難があったでしょうが、主への信仰を守り続けたのです。また「わたしのことばを守り」とありますから、みことばに忠実であったのでしょう。

そのような者はまた教会は、主から主から信任され、門が開かれます。すなわち働きや前進の大きな可能性が与えられるのです。主のみことばに従い続けましょう。

「サタンの会衆に属する者」というのが、迫害や困難の元凶かもしれません。主は彼らを「ひれ伏させ」と言っておられます。また試練のときには「守ろう」と約束してください。

これから後に起こる永遠の御国に至るできごとを、心に現実的に受け止めつつ、「耳のある者」となりましょう。主のことばを通して語らえることに対して、耳が機能しないままとならないようにしましよ。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

